

【22_214技術系メルマガ】理想的な利確の方法

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードはいつも「利確が難しい」とよく言われますが

最近までなぜそのように言われるのかが、僕には正直なところよくわかっていませんでした。

利確も損切も、自分で決めるわけだから「難しい」も「簡単」もないだろう？と。

ですが、悩んでいる多くの人から、色んな角度で話を聞いてみると

例えば

「100pipsあった含み益を、まだ伸びると思って引っ張ろうとして建値に返された」

「これまでの損切りで負けた分チャラ以上にしたいと思って、いつもなら利確するpips幅で利確が出来なかった」

このような経験談を話してくれる人が多かったです。

どれも非常に気持ちはよくわかるし、読んでいる皆さんの中にも「そうそう、そうなんだよね」と共感されている人も多いかもしれません。

一方で、色んな角度から悩みを聞いているうちに

「利確が難しくなっている根本の原因」は、やはり『考え方』にあるということが

僕なりにも分かってきました。

今日は、その点の深掘りをテーマとし、同時に技術的にどんなアプローチで解決していけばいいか考えていきたいと思います。

□
■ 結局「決められない…」から難しくなる

早速タイトル回収(笑)していきたいと思いますが

皆さんにとって『理想的な利確』とは何でしょう？

「天底を捉えて波の先端から先端までキッチリ取りきる」ことでしょうか？

なるほど、それが出来れば非常にトレードの内容としても気持ちが良いでしょう。

ですが、実際それをやろうとした結果、皆さんの口座のお金は果たして増えましたか？

という事なのです。

トレードの目的は「キレイな、カッコいいトレードをする事」などではなく

『リスクを取ることで、自分の口座資金を“トータルでプラス”にしていく』営みです。

僕は、これはもう『仕事』として捉えてやっています。

なので、カッコ良さなど二の次(というか論外)。何より『一貫性』を重要視します。

では、そのトレードに『一貫性』を持たせるには、『利確』というものを考えた時にどうすべきでしょうか？

答え自体は単純で、『決める』ことです。数日前のツイートでもそのことに触れています。

▼当時のツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1552091764215140352?s=20&t=L_WivcrENf5QAE_oqZBK4g

例えば、僕のトレードルールの場合ですが

大体勝率は6～7割程度なので、1回のエントリーにおけるリスクリワード比は

『1:2～3』あれば“充分トータルで勝ち越す”(←ここが重要) ことができます。

であれば、この範囲に収まる利確と損切りを延々繰り返していけば

口座の資金は着実に増えていくわけですから、無理にリワードを引っ張る必要も無いわけです。

僕は大体、損切りの幅は『15pips未満(出来れば1ケタ～10前後)』に収まるようにしているので

リワード的には『20～30pips』位取れていれば充分です。

これは、短期デイトレ(H1足1波の一部くらいを狙う)であればちゃんと成り立ちますね。

逆にそれ以上無理に引っ張ろうとしても、伸びる時もあれば伸びない時もあるわけで

結果に大きくバラツキが生じてしまうので、収益にもムラが出てきてしまいます。

これでは、一貫したトレードをキープ出来ていることになりませんよね。

それに、毎回利確の判断を迷いながらすることになるので、その後が続くトレードにもメンタル的なブレが出てしまい、それこそ悪影響です。

そうならないためにも、普段から自分のトレードのリスクサイズ(損切幅)をある程度把握・固定しておき

そのリスクに見合ったリワードで利確をする。

基準を決める目安として、普段の勝率からリスクリワード比の適正值(大抵1:2で成立するはず
です)

を決め、それに沿って利確することを徹底すれば

次第に「利確も損切りも決めるだけだから、難しく考えなくてもいいんだ」と、気が付くはずですよ。

これは、トレード全般に言える事なのですが

トレード自体は、実際簡単か難しいか、と訊かれたら『難しい』です。

ですが、それはトレード自体のせいではなく

オペレーションを行う、人間自身の考え方(本能とも言い換えられる)がトレード・相場というものの性質と

非常に相性が悪いことが原因だと思われます。

極端なことを言えば、人間の思考自体が、投機において「負けやすくなる」ように出来ているとも言えます。

つまり、トレードは「難しい」のではなく、自分が『難しくしてしまっている』のだと考え

その原因を仕組みから改善していけば、徐々に難易度を下げていくことが可能だという事です。

これもある意味、時間をかけて習得すべき『技術』と言えるかもしれませんね。